

報 道 資 料

平成29年9月22日（金）

件名 砕氷艦しらせ所属CH-101ヘリの事故報告と海上自衛隊・国に対する要請について

概要 このことについて、海上自衛隊と国（中国四国防衛局）から市に対し事故調査の結果説明があり、説明を受けた際、パイロットに対する安全教育の徹底など安全対策に万全を期すことを、海上自衛隊及び国に対し口頭要請しましたので、お知らせします。

記

1. 日 時：平成29年9月22日（金） 11時25分～11時50分

2. 相手方：海上自衛隊海上幕僚監部総括副監察官 森脇 仁（もりわき ひとし）（一佐）
中国四国防衛局企画部地方調整課長 稲葉 稔（いなば みのる）

3. 対応者：岩国市基地政策担当部長 高田 昭彦（たかた あきひこ）

4. 海上自衛隊・国からの説明概要：

○今回の横転接地事故の原因は、機長の処置判断不適切など人的要因であると推定され、器材上の要因ではなかった。

○具体的には、機体振動発生時の対処不十分や操縦士間の連携不足と推測される。

○事故防止対策として、振動を含む飛行特性の再教育と対処法の再徹底、操縦士間の相互補完要領の再確認を実施する。

○こうした対策を実施した上で、飛行停止していたCH-101とMCH-101は、明日23日以降飛行を再開する。

5. 海上自衛隊・国に対する要請内容：

○幸いにも人命に影響が出るような大きな事故ではなかったと認識しているが、当該基地は、民間航空機とも一部共用しており、市としては、先般の事故は、基地周辺住民に不安や危険を及ぼすものであり、遺憾であると言わざるを得ない。

○最近、岩国基地に関係する航空機事故等が相次いでおり、住民の中には不安を感じる方もおられる。

○明日23日以降の飛行再開にあたっては、こうした事故を防止するため、まずは、今回の事故を教訓としたパイロットに対する安全教育の徹底を要請する。その上で、改めて、航空機事故の再発防止に向け、訓練時の安全確保、地上整備員に対する教育の徹底、機体の点検や安全点検など住民の安全を最優先とした一層の安全対策に万全を期すことを要請する。

6. 要請に対する海上自衛隊・国の回答内容：

○関係者及び市民の皆様に御不安と御心配をおかけして申し訳ない。

○要請内容については、真摯に受け止め、再発防止に努めてまいりたい。